

Project : 第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議 議事録		No. 1/10
date : 平成26年2月20日(木) 10:00~12:00	place : 足立区役所 南館4階作業室	
<p>《出席者》敬称略</p> <p>推進会議委員：八藤後 会長、浅香 副会長、山田 委員、吉原 委員、金子 委員、鈴木 委員、足立 委員、田中 委員、高野 委員、大津 委員、石川 委員、定野 委員、近藤 代理（西野委員代理）、岡野 委員</p> <p>事務局（都市建設部ユニバーサルデザイン担当）：須藤 （都市建設部企画調整課）：小故島、伊勢谷 （福祉部障がい福祉課）：本田 （総務部総務課）：緑川、山田</p> <p>《次第》</p> <p>推進会議の議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第3回ユニバーサルデザイン推進会議「議事録」の承認について 2) 第4回ユニバーサルデザイン推進会議「議事録」署名人について 3) 第3回ユニバーサルデザイン推進会議（委員の主な意見）について 4) ユニバーサルデザイン推進計画（案）について 5) 質疑応答 6) 今後の予定について 7) その他 <p>《配布資料》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料1 足立区ユニバーサルデザイン推進会議委員名簿 ○資料2 第3回足立区ユニバーサルデザイン推進会議議事録 ○資料3 第3回足立区ユニバーサルデザイン推進会議（委員の主な意見） ○資料4 足立区ユニバーサルデザイン推進計画（案） ○資料5 第42回足立区政に関する世論調査の一部抜粋資料（ユニバーサルデザイン） ※資料5は、席上閲覧のみ。 <p>○当日席上配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各推進会議における委員意見に対する「区への対応」及び「推進計画への反映」等一覧 ・足立区ユニバーサルデザイン区民向け啓発パンフレット（案） 		

Project :	date :	place :	No.
第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	平成26年2月20日	足立区役所南館4階作業室	2/10

《議事概要》

推進会議の議事

1) 第3回ユニバーサルデザイン推進会議「議事録」の承認について

2) 第4回ユニバーサルデザイン推進会議「議事録」署名人について

- ・その他、議事録の内容については、異議なし。
- ・第4回ユニバーサルデザイン推進会議「議事録」署名人については、浅香委員で、異議なし。

3) 第3回ユニバーサルデザイン推進会議（委員の主な意見）について

事務局より、議事4 推進計画（案）の説明と合わせて説明。

4) ユニバーサルデザイン推進計画（案）および、5) 質疑応答について

事務局より、以下の内容について説明。

- ・推進計画（案）
- ・パブリック・コメントの実施予定
- ・第42回 足立区政に関する世論調査の結果（ユニバーサルデザインに関する結果）
- ・区民向け啓発パンフレット（案）

各項目に対して、それぞれ質疑応答を実施。

○推進計画（案）の内容について

（大津委員）9ページのスパイラルアップの取り組みの図中に「UD」と書かれていますが、UDの注意書きを入れたほうが良いのではないのでしょうか。また、今回はイラストや写真が入っており、以前と比べると随分分かりやすくなったと感じています。ただし、11ページから16ページの現状と課題の部分についてもイラストや写真があると分かりやすいと思います。なお、パブリックコメントの意味を教えてください。

（事務局）パブリックコメントは、行政が計画作成等を行う場合、区民の皆さんからご意見を頂くことです。約1ヶ月間、区の家をホームページ等で提示し、その後、皆さんから頂いたご意見を踏まえ、最終的な計画としてまとめていきます。

（八藤後会長）パブリックコメントで寄せられた意見は、公開されるのですか。また、それぞれの意見について、回答がなされるのですか。

（事務局）基本的には、頂いた各ご意見に対して区の答えを用意します。また、ホームページ上で公開します。

（八藤後会長）イラストや写真を入れることについては、文字を読み込まなくても、より多くのひとに分かりやすい内容となると思いますので、情報のユニバーサルデザインの観点からも良いと思います。

（浅香委員）「UD」については、資料編の81ページに解説が書かれているのですが、9ページには、「UD」が沢山出てくるので、説明を入れた方が分かりやすいと思います。また、第4章に取り組みと関連した写真を掲載することは、説得力があって大変良いと思います。実際の印刷は、カラーとモノクロどちらですか。

（事務局）黒と青の2色刷りを予定していますので、写真はモノクロになります。

Project :	date :	place :	No.
第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	平成26年2月20日	足立区役所南館4階作業室	3/10

(大津委員) 5ページにユニバーサルデザインの解説が書かれていますが、81ページに書かれている「ユニバーサルデザインの考え方」を、そのまま入れても良いと思います。

(事務局) 配置も含めて、検討したいと思います。

(田中委員) パブリックコメントは、区民自らが情報を求めて確認するしかないのでしょうか。定期的に確認している人でないと、気が付かないと思います。

(事務局) ホームページでの公開、区民事務所、図書館、担当課の窓口などで配布し、紙面で確認することも可能です。また、実施については、広報でお知らせします。

(田中委員) 実際に公開内容を確認するといっても、推進計画(案)全部をいきなり読むのは無理ではないでしょうか。要約編などがないと理解できないのではないですか。

(事務局) 27、28ページに掲載している表などを活用して全体の枠組みについて説明するとともに、簡単な解説を加えた要約編を作成して対応したいと思います。

(田中委員) 【各推進会議における委員意見に対する「区への対応」及び「推進計画への反映」等一覧】の10ページ、23の助成金に対する回答で、『助成制度の拡充を検討していきます』と書かれていますが、アクションプログラムの中で、反映されているのでしょうか。

(事務局) 45ページに掲載している「ユニバーサルデザインに配慮した民間施設の整備を促進する」の中で、ユニバーサルデザインに配慮した店舗の整備を促進するために改装費用の補助を行うことをうたっています。また、住宅等に関しては、47ページの「高齢者・障がい者向け住宅改良事業への支援を行う」で改装費用などの一部を助成することをうたっています。

(田中委員) 38～40ページの一覧表の中でも、助成することが分かるようにしてほしいと思います。

(事務局) 助成のことも踏まえ、個別施策のタイトルを「民間施設の整備を促進する」としています。

(吉原委員) 資料が届いてから、今回の推進会議まで期間が短かったため、資料を十分に読み込むことができませんでした。次回以降は、もう少し余裕をもって送ってほしいと思います。

(岡野委員) 皆さんにお送りする資料として、少しでも質の向上を図るために、担当が試行錯誤を重ねていました。結果として、送付が遅くなってしまいましたことをお詫びします。

(石川委員) 個別施策の内容は、概ね障がい者や高齢者向けのものだと思いますが、できれば、男女の差によるバリアを解消するための施策もあると良いと感じました。例えば、オムツ替えの場所が、女性用トイレの中しかない、男性は入れない。また、授乳室とオムツ替えの場所がカーテン一枚のみで隔てている場合もわかり。

Project :	date :	place :	No.
第 4 回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	平成 26 年 2 月 20 日	足立区役所南館 4 階作業室	4 / 10

- (八藤後会長) 今のご意見は、いわゆる子育て支援に関する内容の施策をつくってほしいということですか。あるいは、もっと男女の差に関する広い意味での意見ですか。
- (石川委員) 子育て支援では、男性の子育て参加を促していますが、その割にはオムツ替えの場所が女性用トイレにしかないといった現状があります。女性しか利用しない、男性しか利用しないという概念を解消するようなユニバーサルデザインの施策が入れられると良いと思いました。
- (岡野委員) 全ての施設で授乳とオムツ替えのスペースを分離することは大変コストがかかりますが、例えば、授乳とオムツ替えがかち合う確率が高いであろう子育て支援施設や子供に関係する施設などでは、配慮する必要があると思います。今後の施設整備について、考えなければならぬことだと感じました。
- (事務局) 石川委員のご発言は、公共施設のみならず民間施設も含めてということですか。
- (石川委員) 民間施設も全て含めてです。案内板にオムツ替えの場所があると表示されていても、実際には女性用トイレの中のみで、男性が利用できない場合があります。そうであれば、女性用トイレの中にのみあると表示してほしいと思います。
- (八藤後会長) 石川委員の発言は、このような事態が起きることを認識してもらいたいということだと思いますので、ユニバーサルデザインの取り組みに盛り込んで頂ければ良いと思います。
- (足立委員) 昨日、近藤代理が商店街連合会でお話頂いた「ヘルプカード」が大変良い取り組みだと感じましたので、改めて説明頂けないでしょうか。
- (近藤代理) 一見、健常者と同じに見える内部障がいをお持ちの方など、支援が必要な方のために、名刺サイズのヘルプカードを作成しています。ヘルプカードを提示することによって、必要な支援内容を伝えることができます。そのような方を見かけた場合は、支援をお願いいたします。ただし、まだ広く普及していませんが、マタニティマークの障がい者版と思ってください。
- (田中委員) 議事録を資料よりも先に送っていただけると、前回の会議の内容が思い出せて良いと思います。
- (金子委員) 56 ページ「バリアフリー基本構想を作成する」について、内容・方法の欄にも記載してありますが、法律に基づいて策定するものなのですか。また、基本構想ということだけあり、壮大なものだと思いますが、ユニバーサルデザインの個別施策の一部として取り扱うだけで良いのでしょうか。ユニバーサルデザインとはどのように関わるものなのでしょうか。
- (事務局) バリアフリー基本構想は、「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」で各自治体が定めることができると規定されています。23 区では、既に 17 区が策定していますが、足立区ではまだ策定していません。
具体的には、駅周辺等のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化について、行政だけでなく、交通管理者や警察、商店などの事業者、区民など大勢の方の参画により、検討を重ね策定していくものです。バリアフリー基本構想は、別のステージで策定しますが、個別施策の一つとしてあげています。

Project :	date :	place :	No.
第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	平成26年2月20日	足立区役所南館4階作業室	5/10

(金子委員) 駅前広場や駅の改札付近などに絞って取り組むということですか。

(事務局) エリアについては、これから検討していきます。例えば、他地区では基本構想を策定したことにより、店舗のバリアフリー化が進んだという事例も聞いています。策定により、まち全体の面的立体的なバリアフリー化が進むことも想定しています。

(八藤後会長) バリアフリー基本構想の策定については、ユニバーサルデザインと同じ所管が行うのですか。

(事務局) 他の自治体では、ハードに関することを土木・都市建設部門が、ソフトに関することを福祉部門が主管となって取り組んでいるところもありますが、足立区では、ユニバーサルデザイン担当がありますので、ここが中心となって庁内を取りまとめていくのが良いと感じています。

(八藤後会長) ぜひこの推進会議のような場を設けて、広く意見を聞きながら進めて頂ければ良いと思います。

(事務局) 策定にあたっては、推進会議とは別に協議会を設けなければいけないことになっていきますので、協議会に大勢の方に参画して頂き、基本構想をとりまとめていきます。

(八藤後会長) 行動計画で「区民の役割」とありますが、これはとても大事なことで、区民から積極的に要望を出してもらうことが、より質の高いものをつくるための要件だと思います。いくら、我々や区役所の皆さんが頑張っても、区民がどうすべきか分からなければ、絵に描いた餅になってしまいます。

区民の役割として積極的な参加や参画に関して随所に記載していますが、もう少しこれを支援できるような体制をつくることを考えて頂くと良いと思います。

ただ、やりなさいやりなさいと言うよりは、例えばそのような市民団体に助成を出し、より良い意見をまとめてもらうことをお願いするとか、あるいはそのような団体をつくりたい運営したいという時に、相談できる窓口があるとか。区民が推進計画を読んで、ぜひ自分達も取り組みたいという意志がある人が、活動しやすいような環境を支援するといった具体的な施策を今後考えていくことを盛り込んで頂ければと思います。

(岡野委員) ありがとうございます。確かに、区が先頭に立ち一所懸命に進めていくことは大事だと認識し、このような書き方をしています。区民や事業者の皆さんが、何か取り組もうとした際に、先立つものがお金だったり情報だったりということがあると思いますが、お金については、足立区には「まちづくりトラスト」があります。いきなり行政が税金を使うには難しいことであっても、皆さんが活動する際に、税金とは別のトラストを活用する仕組みを書き込むこともできると思います。少し考えさせてください。

(鈴木委員) 30ページの「②必要な人が移動のために、気軽に利用できる制度等による支援」について、障がい者や高齢者とともに“子育て中の方”という言葉も入れた方が良いのではないかと思います。

Project : 第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	date : 平成 26 年 2 月 20 日	place : 足立区役所南館 4 階作業室	No. 6/10
<p>(山田委員) 30ページの②文章全体において、「～様々なハードルがありますが、これらを感じさせないための～」は、「不便や負担なく楽しく安全に移動や外出ができるための～」というように、具体的にどうあれば良いのか分かるようにした方が良いと思います。</p> <p>また、38ページの個別施策の項目についても「ユニバーサルデザインに配慮した～」とありますが、例えば「安心・安全で楽しく移動しやすい～」というように、何を目指しているのか、また何が実現できるとユニバーサルデザインに近づくということが具体的に分かりやすいように書いた方が良いと思います。</p> <p>文章全体の言い回しとしては、大変読みやすくなったと思いますが、「～することができる」を「～できる」、「読むことができる」を「読める」とした方がより読みやすいと思います。</p> <p>第2章の課題については、「～が必要です」「～が求められています」「～しなければなりません」という言葉が続き、何となく悲壮感があります。第3章のように箇条書きにした方が、それをあまり感じることなく、また言葉も切りやすくていいかと思います。</p> <p>「関係団体の協力を得て」という文章が何度か出てきますが、「関係団体の参画を促す」とした方が、すわりが良いと思います。また、関係団体には、「学校」も書き加えた方が、教育の現場も巻き込んでいくという我々の気持ちがとても伝わるといいと思います。</p> <p>第4章に、区・区民・事業者の順番でそれぞれの役割が書かれていますが、区民、事業者の役割があり、それを区がサポートするということなのか、区が進めていくので区民・事業者の皆さんもぜひ取り組んでほしいということなのか、書く順番によってイメージが大きく異なると思います。区としてはどのように考えているのでしょうか。</p> <p>最後に、社会にはどのような人がいて、どのような困難を抱えているのかが、あまり書かれていません。推進計画を読むと色々な立場の方がいるということが分かるように、資料編に書き加えてはいかがでしょうか。例えば、車いすの場合は、凸凹があると引っかかってしまい通りにくい、アールを大きく取ってもらって移動しやすいなど、どのような困難を感じていてどのような配慮が必要か知らないと、ユニバーサルデザインだけを示されても分かりにくいのではないかと感じました。</p> <p>また「カラーユニバーサルデザイン」という言葉もことわりなく出てきますが、おそらくこれも分からないと思います。</p> <p>(事務局) 記載事項に関してご提案頂いた内容については、検討させていただきます。また、第4章の区・区民・事業者の役割の書く順番については、主体は区民や事業者の皆さんだとしても、当初は区がある程度先導しないと進まないのではないかといいことで、区・区民・事業者の順番にしています。</p> <p>(山田委員) 実態としては、区が先導していくのだと思いますが、区民や事業者の皆さんが、「こんなふうにやりたいのであれば応援しますよ」というような書き方も可能ではないかと思っています。</p> <p>(大津委員) 私は、区・区民・事業者の順番で良いと思っています。区民や事業者の役割の中に、「～を提案する」とありますが、具体的にどこに提案すれば良いのか分かるようにした方が良いと思います。</p> <p>(事務局) 区に働きかけることや、自分達で考え実行しようということなど、様々な意見の出し方や述べ方、行動の仕方があると思います。ここでは、「～提案する」という書き方だけですが、検討したいと思っています。</p>			

Project :	date :	place :	No.
第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	平成26年2月20日	足立区役所南館4階作業室	7/10

(高野委員) 例えば、駅を利用されている方ですと、現実的には、区ではなく直接駅の窓口などに要望が多くよせられます。またバスの場合は、運転手など。状況に応じて提案先は変わりますので、具体的な提案先は書かず、「～を提案する」という書き方だけで良いと思います。

(八藤後会長) ただし、区でも提案を受ける体制をつくっておかなければ、それぞれが情報を持っていて、結局情報が一体化せず、誰も動かない、動けないということになると思います。そして、結果的に事業者だけに提案を押し付けることになってしまうと思いますので、区としてもある程度情報を把握できるようにした方が良いのではないのでしょうか。

○第42回 足立区政に関する世論調査の結果について

(八藤後会長) 今回、世論調査にユニバーサルデザインの項目が入ったのは初めてですよ。変化は、今後引き続き行われる調査でみられてくると思います。

(事務局) 【ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み】で、特にない、わからないを除いた選択肢で「ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりや施設整備」が最も多くなっています。区では、道路や建物など、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した取り組みを進めていますが、これまでこれらに関する情報発信をあまりしていなかったため、区民や事業者の皆さんに十分に伝わっていないということを大変感じました。

また【ユニバーサルデザインに関することで行いたい取り組み】では、「ユニバーサルデザインの推進には協力するが、主体的には参加しない」が多く、色々なプログラムがあり少しでも関わること、気軽にお手伝いできることがあれば、少し変わってくるのではないかと思います。

具体的な施策に反映するのは、なかなか難しいですが、区だけでなく、事業者や様々な店舗でも、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備が行われていますので、来年度はすぐにでも情報発信の方法を考え、積極的にお知らせしていく必要があることを感じました。

(八藤後会長) これまでほとんど取り組みを行ってこなかった場合、あまり要望はあがってきません。それが、例えば駅にエレベーターが付き始めたとか、区の取り組みなどを目の当たりにすると、様々な要望が選択されるようになるため、回答結果の数字が多いから良いとか悪いとかは一概には言えないと思います。解釈の仕方は難しいと思いますが、経年変化をみていくことで、分かってくることがあると思います。

(石川委員) このアンケート結果は、どのように活かしていくのでしょうか。平成28年度には、推進計画の見直し予定となっていますが、ユニバーサルデザインの認知度を何%に向上させるといった目標値を立てるのでしょうか。

(事務局) 来年度以降、ユニバーサルデザインは、区の重点プログラムに位置づけることになっています。重点プログラムに位置づけられると、区民評価委員により、それぞれの事業を評価して頂くこととなりますが、ユニバーサルデザインの推進計画の内容については、この推進会議の中で評価して頂くことを考えています。

そこで、評価するうえでの指標ですが、今後、ユニバーサルデザインに関する様々な事業を進めていくことで、区民や事業者の皆さんに周知されていき、認知度や関心度が高まっていくことが一つの指標として捉えて良いかどうか、今後の進め方についてもご提案しながら、この推進会議で、

Project : 第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	date : 平成26年2月20日	place : 足立区役所南館4階作業室	No. 8/10
---------------------------------------	----------------------	-------------------------	-------------

ご議論頂ければと考えています。ユニバーサルデザインの取り組みは、これからも続いていきますので、世論調査結果はそれを図る上での物差しになるのではないかと考えています。

○区民向け啓発パンフレット（案）について

『ユニバーサルデザインってな～に？』の見開きページについて

- (田中委員) ころちゃんのプロフィールで、「ユニバーサルデザインに興味津々な女の子」とありますが、な～に？ということに対して興味津々なののでしょうか。それとも、ユニバーサルデザインと聞いただけに興味津々になる女の子なののでしょうか。
- (八藤後会長) どちらであってほしいと思いますか。
- (田中委員) 最初は、ユニバーサルデザインってなんだろう？と思い、まだ興味津々ではないと思います。ユニバーサルデザインの意味が分かってから、興味津々になるのだと思います。
- (山田委員) 興味津々とは書かず、「足立区に住んでいるちょっとおせっかいなやさしい女の子」にすれば良いのではないのでしょうか。
- (八藤後会長) 「様々な機能が備わったトイレ」のイラストで、ベビーシートに対して赤ちゃんはこんなに小さくなく、寝ている向きも不自然です。また、ベビーシートを支えるベルトが横についていますが、横からのアプローチができなくなるため、現在ではついていません。
- (石川委員) 「様々な機能が備わったトイレ」のイラストに、オムツ替えはお父さんも行うことができるように、男性も加えて夫婦で入っているように描いてほしいと思います。
- (金子委員) 「光や音で知らせてくれる信号機」のイラストですが、音で知らせてくれると安心なのは、全盲の視力障がい者です。このイラストで描かれている人は信号が見えてるわけですから、視力障がい者にした方が、音でも知らせてくれて安心だということが伝わるのではないのでしょうか。
- (事務局) これがあることで、“だれもが利用しやすい”というユニバーサルデザインの意図から、あえて視覚障がい者にせず、高齢の方を描きました。
- (金子委員) 全盲の方は、音が流れることで初めて横断できることが分かり、音は非常に重要です。竹ノ塚障害者福祉館の前に音が流れる信号機がありますが、近隣の住民にとっては、音が四六時中聞こえることでうるさく時間制限をするようクレームが入りました。そこで、夜の8時まで流れるようになったのですが、障害者福祉館は夜9時まで開館しています。全盲の方にとっては、命を守るためにも音は必要です。このパンフレットは、広く配布されると思いますので、音の意味や重要性を伝えるためにも、イラストに視力障がい者を描いてもらえればと思います。

Project :	date :	place :	No.
第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	平成26年2月20日	足立区役所南館4階作業室	9/10

『めざすまちの目標像』の見開きページについて

(田中委員) 「ちょっとおせっかいな思いやりのころづかい」と書いてありますが、次のページを見ると、思いやりの気持ちからうまれる「ちょっとおせっかい」とあるので、「ちょっとおせっかいな思いやり」とした方が良いのではないのでしょうか。

(大津委員) 推進計画の中には、「ちょっとおせっかい」という言葉は出てくるのですか。

(事務局) 以前は出ていました。しかし、「ちょっとおせっかい」の気質を持った区民はいると思いますが、データとして示すことはできないのではないかとということで、今回は削除しています。ただし、「ちょっとおせっかい」になって気を配ることは、とても良い表現だと思いますので、パンフレットには残しています。

(大津委員) 「情報やサービスの提供」のイラストで、ターバンを巻いている人がいますが、区内ではあまり見かけないので、違う表現にした方が良いと思います。

『ちょっとおせっかいなひとになっちゃおう』の見開きページについて

(八藤後会長) みんなで「ちょっとおせっかい」なひとになっちゃおう！のイラストは、お手伝いをしている人とされている人の服装を変えるなど、登場人物が家族ではなく、明らかに他人と分かるように表現しないと「ちょっとおせっかい」の意図が上手く伝わらないと思います。

(足立委員) 左側の女性が「おせっかい」な人ですか。

(事務局) かばんを持ってあげているころちゃんとベビーカーを持ってあげている男性が「ちょっとおせっかい」な人です。

(八藤後会長) 「ちょっとおせっかい」は、良いフレーズだと思いますので、なおさら分かりやすい工夫をした方が良いと思います。

(田中委員) こころちゃんだけ、色をつけてはどうでしょうか。

(事務局) 現在は下書きの段階ですが、イラストは最終的に全て色がつきます。

(八藤後会長) 今のご意見のように、あえて他を色抜きにしてこころちゃんだけ色をつけても良いと思います。

(山田委員) “「ちょっとおせっかい」は足立区版の【ユニバーサルデザインの表現】です”は、言い方が硬いので、“「ちょっとおせっかい」は足立区の宝物です”としてはいかがでしょうか。

(石川委員) 「興味を持ち、学んでみよう」のイラストで、ボードにUDと書いてありますが、ユニバーサルデザインとした方が良いと思います。

(田中委員) こんなことから始めようのページでは、区民が一番上に来ていますが、掲載の順番はこれで良いのでしょうか。

(大津委員) このパンフレットは、区民や事業者の方への啓発を目的としているのですから、区民・事業者・区役所が並列にならないような表現にするのが良いのではないのでしょうか。

Project : 第4回 足立区ユニバーサルデザイン推進会議	date : 平成26年2月20日	place : 足立区役所南館4階作業室	No. 10/10
---------------------------------------	----------------------	-------------------------	--------------

(吉原委員) 上や横から並べると、どうしても順番ができてしまうと思いますので、丸のような配置にして、みんなが一つの土俵にのっているような表現にした方が良いのではないのでしょうか。

(山田委員) 推進計画の7ページに「関係団体」が出ていますが、パンフレットには入れなくても良いのでしょうか。区民・事業者・関係団体・区役所をクローバー型みたいにすれば、紙面的に納まりも良くなると思います。

(事務局) 関係団体の役割を表現するのは難しいと思います。

(山田委員) 誰が何をしなければならないということではなく、シンボリックなクローバーのような絵が中心にあり、その周りに色々な配慮が描かれていれば良いと思います。

6) 今後の予定について

事務局より、以下の内容について説明。

- ・推進計画(案)は、本日のご意見をもとに修正を行い、3月17日(月)から4月15日(火)までの約1ヶ月間の予定でパブリックコメントを実施します。2月25日号の広報でお知らせを掲載します。
- ・修正したものにつきましては、パブリックコメントの前に改めて委員の皆さんに送付いたします。
- ・パブリックコメント終了後は、意見集約を行い、パブリックコメントの意見を反映したものを、次の推進会議でご提示したいと考えています。
- ・その後、7月ぐらいには全体をまとめ、推進計画を確定して公表していきたいと考えています。
- ・今回、資料の送付が遅くなってしまいましたので、改めて席上配布した資料とあわせて、内容をご確認頂き、お気づきの点があれば今月中にご連絡ください。